

製品名: GSK3 ベータ (4C4) マウスモノクローナル抗体**カタログ番号: AMM03605**

研究使用のみ

概要

説明	マウスモノクローナル抗体
宿主	ねずみ
応用	WB,IHC
反応性	ヒト、ラット、マウス
標識	非共役
修飾	未修正
アイソタイプ	IgG1
クローン性	モノクローナル
形態	液体
濃度	1mg/ml
保存	アリコートし、-20°Cで保存してください (12 ヶ月有効)。凍結/融解サイクルを避けてください。
輸送	氷袋
バッファー	50% グリセロール、0.5% 保護タンパク質、0.02% アジ化ナトリウムを含む PBS 液 (pH 7.3)。
精製	アフィニティー精製

応用

希釈倍率	WB 1:500-1:1000,IHC 1:50-1:100
分子量	Calculated MW: 47 kDa; Observed MW: 47 kDa

抗原情報

遺伝子名	GSK3B
別名	GSK3B; Glycogen synthase kinase-3 beta; GSK-3 beta; Serine/threonine-protein kinase GSK3B
遺伝子 ID	2932
SwissProt ID	P49841
免疫原	標的タンパク質に対応する合成ペプチド

背景

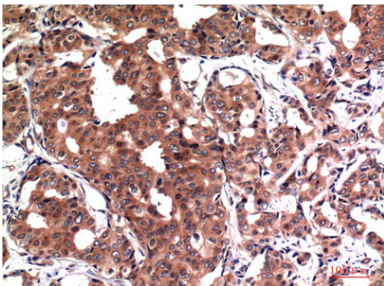
グリコーゲン合成酵素キナーゼ 3 (GSK3) は、プロリンを標的とするセリン-スレオニンキナーゼであり、当初はリン酸化して不活性化

するグリコーゲン合成酵素として特定されました。GSK3B は、エネルギー代謝、神経細胞の発達、および体型形成に関与しています。骨格筋では、GYS1 の活性をリン酸化して阻害し、グリコーゲン合成を抑制することで、インスリンによるグリコーゲン合成の調節に寄与します。

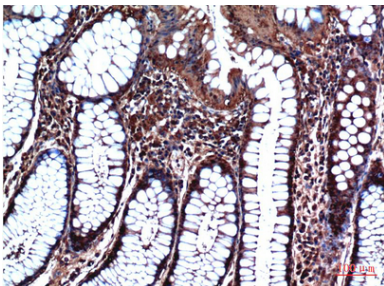
研究分野

神経科学

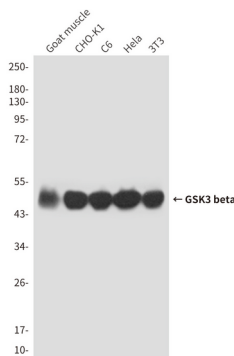
画像データ



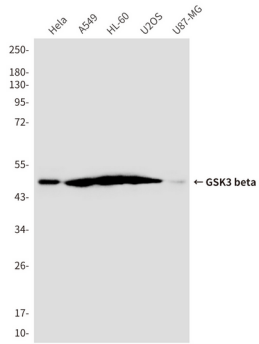
GSK3 ベータ (4C4) 抗体を使用したパラフィン包埋ヒト乳癌組織の免疫組織化学分析。抗原賦活化には、高圧高温クエン酸ナトリウム pH 6.0 を使用しました。



GSK3 ベータ (4C4) 抗体を使用したパラフィン包埋ヒト扁桃腺の免疫組織化学分析。抗原賦活化には高圧高温クエン酸ナトリウム pH 6.0 を使用しました。



GSK3 ベータ (4C4) 抗体を用いたヤギ筋肉、CHO-K1、C6、Hela、3T3 ライセート中の GSK3 ベータ (4C4) のウェスタンブロット分析



GSK3 ベータ (4C4) 抗体を使用した、Hela、A549、HL-60、U2OS、U87-MG 溶解物中の GSK3 ベータ (4C4) のウエスタン プロット分析。